

余剰食品、必要な人へ

フードバンクの回収箱の準備をする関係者
11月6日、静岡市葵区のしずてつストア安東店



家庭からの提供種類豊かに

ンクへの企業の協力は主に余剰品提供で、回収活動支援というスタイルは珍しい。

バンクは県労働者福祉協議会や県生活協同組合など13団体に5月に設立した。困窮者側のニーズに一時追いつかない時期があったが、夏の回収強化期間に目標を5割上回る770キログラムを回収した。10月末には累計で7トに到達し、活動は軌道に乗りつつある。

バンクは目標値を上方修正し、さらなる周知を目指す。鈴木和樹事務局長(34)は「構成団体が多様になったことが信用につながり、協力企業を増やしている」とみる。

フードバンク気軽に参加

一般の提供者は家庭で食材を管理

家庭や企業から出る余剰食材を引き取り、生活困窮者に無償で届ける「フードバンク」のくにの活動に、静鉄ストアが協力する。10日から20日まで静岡、富

土岡市内のしずてつストア計8店に回収箱を設置する。バンク側は「誰もが足を運ぶスーパーが受け付け場所になる効果は計り知れない」と支援拡大に期待する。

しずてつストアは10日から、静岡市は安東店や入江店、富士市は富士吉原店などに回収箱を設置する。賞味期限まで1カ月以上あり保存がきく乾麺やレトルト食品などが対象。フードバ

しずてつストアは10日から、静岡市は安東店や入江店、富士市は富士吉原店などに回収箱を設置する。賞味期限まで1カ月以上あり保存がきく乾麺やレトルト食品などが対象。フードバ

こち女
Women's
CHOICE

しずてつストア 回収協力

しずてつストアは10日から、静岡市は安東店や入江店、富士市は富士吉原店などに回収箱を設置する。賞味期限まで1カ月以上あり保存がきく乾麺やレトルト食品などが対象。フードバ

(大須賀伸江)